

# 事故を防ぐために

## 1 入浴中は直接触れないように注意しましょう。

「パック型水素入浴剤」は、湯もしくは水に触れると直ちに高温になり、しばらく持続します。必ずケースに入れて使用し、入浴中は直接入浴剤に触れないようにしましょう。

なお、ケースがあっても子どもの指ならば通ってしまう可能性がありますので、特に子どものいるご家庭では注意が必要です。また、使用前の入浴剤を取り扱う際には、ぬれた手で触ったり、水でぬらしたりしないよう注意しましょう。

## 2 湯に入れた後は、しばらく取り出さないようにしましょう。

「パック型水素入浴剤」は、湯につけた直後に取り出すと、高温の蒸気を発生するため、直接入浴剤に触れなくてもやけどをする可能性があります。湯につけてからしばらくは湯から取り出すことは絶対に避けましょう。

## ▼ 業界へ以下の要望をしました。

- ぬれた手で入浴剤に触れたり、子どもが高温になった入浴剤本体に触れてしまったり、湯から取り出した際の蒸気でやけどを負うことがないように、表示を含め商品の改善を要望しました。
- 広告等に効能効果をうたった表示がみられ、各銘柄の医薬品医療機器等法上の区分によっては、同法に抵触するおそれがあると考えられますので、表示の改善を要望しました。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。  
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。  
<http://www.kokusen.go.jp/>

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。  
 特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。  
 商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。  
 無断転載はお断りいたします。



独立行政法人  
**国民生活センター**

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL.042 (758) 3165 ● 2016年9月発行  
 イラスト=川崎 敬郎

# くらしの危険

Number  
 333

## 発熱反応を伴い水素を発生するというパック型入浴剤 - 使い方によっては、やけどのおそれも -

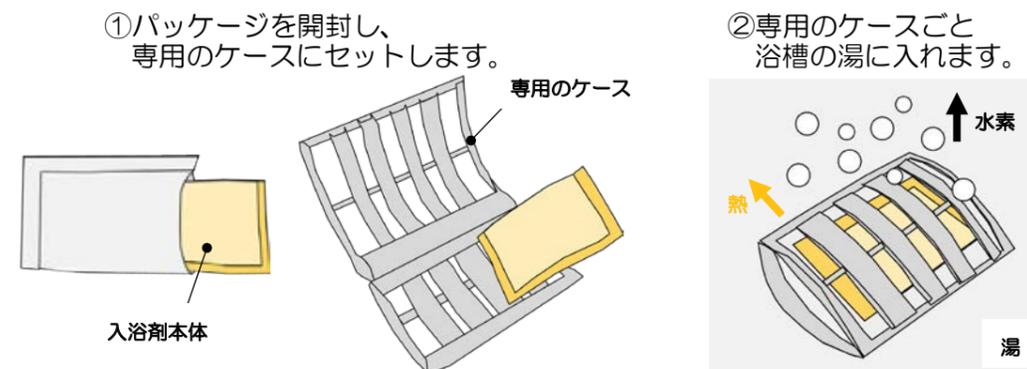
7歳の女兒が、水素を発生するという、ケースにセットしたパック型の入浴剤を浴槽内の湯に落としてしまい、慌てて手ですくい上げたところ、第Ⅱ度の熱傷※1（浅達性、手掌、手背、手指の1%）を負ったという事故情報が医療機関ネットワークに寄せられました。

水素を発生するという入浴剤にはいくつかの種類があります。薬剤がはいった不織布等の袋を専用のケースに入れて使用する「パック型水素入浴剤」には、入浴の際に使用すると高温になるものがありますので、取り扱いには注意しましょう。



## 「パック型水素入浴剤」とは

◆ 酸化カルシウムやアルミニウムが配合され、不織布等の袋に入ったものでは、水との化学反応により水素を発生しますが、熱も発生するため、専用のケースにセットして使用するようになっています。



※1：医学大辞典（第18版、株式会社南山堂）によれば、「高温による皮膚障害、俗にいうやけどであり、程度により第1度：紅斑，第2度：水疱，びらん，潰瘍，第3度：壊死，（第4度：炭化）に分けられる。」とあります。

# こんな事故が起きています

PIO-NET<sup>※2</sup>や医療機関ネットワーク<sup>※3</sup>には、「水素を発生するという入浴剤」に関する危害・危険情報が寄せられています。

※2：国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する情報を蓄積しているデータベースのことです。

※3：消費者庁と国民生活センターとの共同事業で、消費生活において生命または身体に被害が生じた事故に遭い、参画医療機関を受診したことによる事故情報を収集するもので、2010年12月より情報収集を開始しました。

**ケース1** 自宅の浴室で初めて買った入浴剤を試そうと父がセットし、児に手渡した。当該商品は使い捨てカイロのような袋に入った入浴剤をプラスチック製のカゴの中に入れて、浴槽のお湯の中に沈めて使用する。児がお湯の中に入れた入浴剤を拾い上げたところ、左手に熱傷を負った。

(7歳 女児)

**ケース2** 水素が発生する入浴剤をもらい使用したら湯の温度が高く火傷をした。入浴剤を入れる容器は渡されなかった。

(40歳代 女性)

**ケース3** テレビショッピングでデトックス効果のある水素の入浴剤が紹介されていたのを見て注文した。届いた入浴剤を湯船に入れたら泡が出て湯温より高温になり驚いた。

(80歳代 女性)



「パック型水素入浴剤」によるやけどの危険性についてテストしてみました。

## ◆ 温度について

### (1) 湯に入れている場合

湯につけた直後から激しく気泡を発生するとともに、表面の温度が90℃近くまで上昇し、それが約10秒間～3分間持続しました。

### (2) 湯から取り出した場合

湯に入れて直ちに取り出すと、入浴剤表面から高温の蒸気が発生し、入浴剤本体に直接触れなくてもやけどを負ってしまう可能性があります。

図1：湯中に入浴剤表面温度の測定結果例

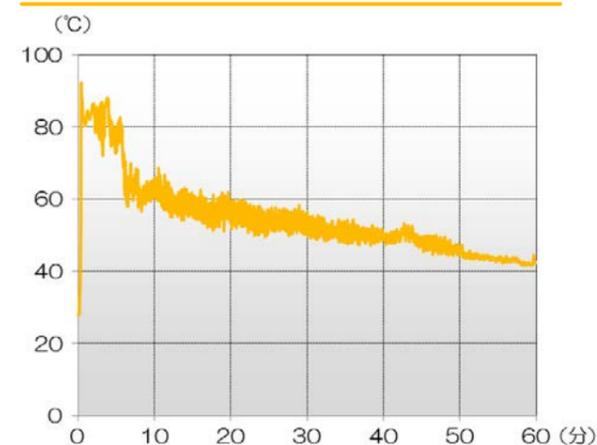
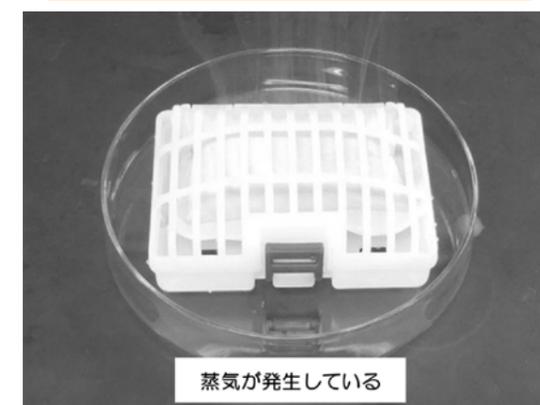


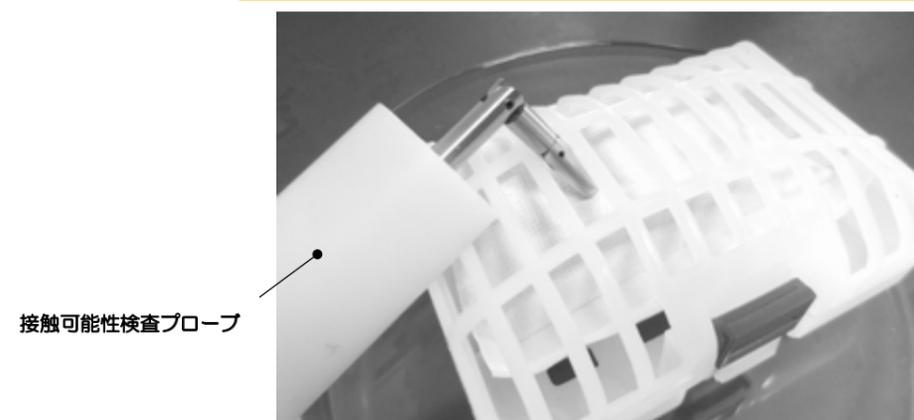
写真1：湯から取り出した直後の例



## ◆ 形状について

格子の隙間から子どもの指が入るため、入浴剤本体に触れてしまう可能性があると考えられました。

写真2：接触可能性検査プローブ<sup>※4</sup>が入浴剤と接触した例



\*写真1～2の商品は事故事例とは関係ありません。

※4：玩具安全基準書ST-2016を参考に、36ヵ月未満と36ヵ月以上の子どもの想定した接触可能性検査プローブを使用しました。

●このテストの詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページ 商品テスト結果「発熱反応を伴い水素を発生するというパック型入浴剤一使い方によっては、やけどのおそれもー」で見ることができます。